

M-1. コンポジションビニル床タイルのメンテナンス方法



田島ルーフィング株式会社

I. 適用床材 コンポジションビニル床タイル

Pタイル、Mタイルソフト、ファインスレート、ロンドタイル、
ピサロンコリンズ、ナチュライン、ニューソフトン、パサーヌ、
ウッドクラフト、ドルチェ、テラーノ、モルタライク、「パルティ」等

II. コンポジション床タイルのメンテナンス方法の留意点

コンポジションビニル床タイルはポピュラーな材料で、非常にメンテナンスしやすい材料です。新築床の処理さえうまく行けば、使い込む程ワックスがなじみ長持ちします。

「パルティ」については、表面にUVコーティングを施してあるため汚れ難く、ホモジニアスピニル床タイル同様、光沢が出やすくなっています。

洗浄や剥離作業時、茶や黒といったナイロンパッドでは色によって傷が目立つ恐れがありますのでご注意下さい。

また、他のコンポジションビニルタイルは、少量湿気を吸い込む（透水性がある）のに比べ、UVコーティングは殆ど透水性がないため、Pタイル等のコンポジションビニルタイルに比べワックスの乾燥が遅れる傾向があり、一層目のワックスの乾燥を十分に行う必要があります。

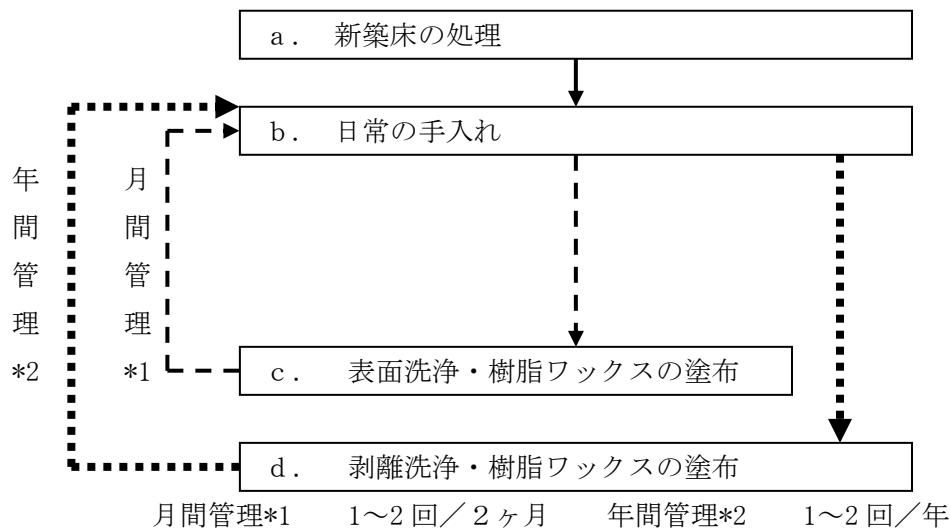
特に冬季や梅雨時期のように室温が低かったり、湿度が高い場合は注意が必要です。

III. コンポジション床タイルのメンテナンス方法

1) 使用ワックス、洗剤

ワックス	専門ワックスメーカーのワックス（樹脂ワックス）
洗剤	弊社商品名「クリーナー」
剥離剤	弊社商品名「リムーバー」

2) メンテナンスのサイクル



*1, 2 「パルティ」については、c, d の管理頻度を半分程度にすることが可能です。

- a. 新築床の処理** 工場製造時や施工時の汚れ等を取り、密着性を上げるために、ワックス塗布前に床用クリーナーでよく洗浄します。
※ オープン当初は、通常より歩行量が多く、土砂の持ち込みや歩行による汚れ（ヒールマーク等）が付着しやすいため、汚れに応じて日常の手入れや月間管理をお願いします。

注) 工場製造時やタイル施工時の残っている可塑剤分や汚れを、事前清掃で落として下さい。もしそれらを残したまま樹脂ワックスを塗布すると、密着不良やワックスがはじいて、均一に塗れないことがあります。

- ① 養 生** …施工後、ワックスをかける前は汚れや傷が付きやすく、一旦傷が付くと修復が困難です。土足厳禁、養生シート掛け等をお願いします。
- ② 洗 清** …接着剤が完全硬化したら（施工後 7 日）床用クリーナーを 50～60 倍に水で希釈し、モップで塗布した後、赤～緑のナイロンパッドを取り付けたポリッシャーで、全面ムラ無く洗浄します。
洗浄後、洗浄水をスクイジーか汚水バキュームで除去します。
洗浄水を回収した後、洗剤分を残さないように、きれいな水で床面をすすぎ洗いし、きれいなモップで 3 回以上水拭きして下さい。
最後に乾いたモップで拭き上げ、乾燥させて下さい。
水分乾燥の目安は夏場 30 分、冬場 60 分、雨天等室内湿度が高いときはそれ以上とて下さい。

注) 床用クリーナー溶液、すすぎ用水はビシャビシャに塗布しないで下さい。

注) 床洗浄する前に

床材表面に残っている接着剤（少量の酢ビ系やエマルジョン系接着剤）は、床洗浄時に落ちますので無理に取る必要はありません。

土砂等は掃除機やダスター モップで取り除いておいて下さい。

③ ワックス塗布…床材が乾燥したら樹脂ワックスをつけ、ゆっくり丁寧にムラ無く塗布して下さい。

樹脂ワックスをきれいなモップ リンガーに必要量入れ、専用モップにこれを漬け、滴り落ちない程度に軽く絞ったものを使います。

樹脂ワックスを平均にムラなく、モップで塗布して下さい。

乾いたら 90 度方向を変えて塗布して下さい。3 層塗布が標準です。

b. 日常の手入れ 樹脂ワックスの塗膜が、土砂などにより傷が付くと、そこに汚れが入り傷付き易くなります。

土砂を入口で防ぎ、内部に持ち込まれたものは早めに除去することが大切です。

① マットの設置…出入口に泥よけマット類^{*3}を敷き、土砂の侵入を防ぎます。

マット類はこまめに清掃、交換して下さい。

② モップ拭き …掃除機、固絞りの水拭きモップや除塵クロス^{*4}で清掃して下さい。

③ 部分的な汚れ…部分的な汚れはクリーナー希釀液（20 倍）をパットホルダーにハンドパットを取り付けたもの（3M 製）につけ、部分洗いして下さい。

ハンドパットが無い場合は家庭用スポンジタワシの固い部分でも代用できます。

洗浄後、洗浄水が乾かないうちに、きれいなモップやタオルで水拭きし洗剤分をよく落として乾燥して下さい。

汚れを落としたところは樹脂ワックスをその部分に塗り、光沢を回復させて下さい。

※3, 4 マット類や除塵クロスで帶電油を用いたものは、床に汚れを付着させたり、ワックス皮膜を黄変させたりする恐れがありますので、使用しないで下さい。

C. 表面洗浄 日常の手入れを繰り返しますと、光沢が落ちてきたり、汚れが取りきれず目立ってきます。そのようになつたら表面洗浄を行います。

樹脂ワックスの皮膜は金属架橋のため、通常の床用クリーナーでは溶けません。樹脂ワックスの皮膜の表面汚れだけを洗うことが出来ます。

- ① モップ拭き …表面洗浄を行う前に、掃除機、固絞りのモップや除塵クロスで土砂を清掃して下さい。
- ② クリーナー洗浄液の調整…洗浄する床面積に応じてクリーナー洗浄液を作ります。
クリーナー 1 対し 水 49 (50 倍) に希釈します。
- ③ クリーナーの塗布、洗浄…専用モップでクリーナー希釈液 (50 倍) をムラ無く塗布します。
赤～緑のナイロンパッドを取り付けた電動ポリッシャーで、全面ムラ無く洗浄します。洗浄後、洗浄水をスクイジーか汚水バキュームで除去します。洗浄水が乾かないうちに、きれいなモップで3回以上水拭きして下さい。最後に乾いたモップで拭き上げ、乾燥させて下さい。
- ④ 樹脂ワックス塗布…床材が乾燥したら、光沢が落ちていますので専用モップに樹脂ワックスを浸け、1層塗布して下さい。光沢が回復します。
十分に乾燥させたら、使用可能です。

d. 剥離

日常の手入れ、表面洗浄を繰り返しますと、深い傷が取り切れなくなったり、皮膜全体が劣化し黄ばんできて表面洗浄では回復しなくなっています。そのようになったら剥離作業を行います。

樹脂ワックスの皮膜は通常の床用クリーナーでは溶けませんので、完全に取り去るために剥離剤「リムーバー」を使用します。

- ① モップ拭き…剥離を行う前に、掃除機、固絞りのモップや除塵クロスで清掃し土砂を取り除いて下さい。
- ② リムーバー液の調整…洗浄する床面積に応じてリムーバー液を作ります。
リムーバー 1 対し 水 4~9 (5~10 倍) に希釈します。
- ③ リムーバー液での剥離…専用モップでリムーバー希釈液 (5~10 倍) をムラ無く塗布します。緑～黒のナイロンパッドを取り付けた電動ポリッシャーで全面ムラ無く剥離します。洗浄水が乾かないうちに、きれいなモップで3回以上水拭きして下さい。
最後に乾いたきれいなモップで拭き上げ、乾かして下さい。

※ 「パルティ」は、表面に透明なUVコーティングを施しておりますので、あまり粗い茶や黒といったナイロンパッドでは、色によって傷が目立つ恐れがあります。

注) リムーバーはpH13前後の強アルカリ性ですので、皮膚に付くと火傷やかぶれる場合があります。作業は保護手袋を着用して行って下さい。万一皮膚にふれた場合は、多量の水で洗って下さい。

注) リムーバー希釈液を樹脂ワックス皮膜上に塗布すると、樹脂ワックス皮膜はリムーバーにより溶けて、大変滑りやすくなります。靴に滑り止めの工夫をして、作業して下さい。

④ **樹脂ワックス塗布**…床材が乾燥したら専用モップに樹脂ワックスをつけ、ゆっくり丁寧にムラ無く塗布して下さい。

樹脂ワックスをモッププリンガーに必要量入れ、専用モップをこれに漬け樹脂ワックスが滴り落ちない程度に軽く絞ったものを使います。

乾いたら 90 度方向を変えて塗布して下さい。3 層塗布が標準です。

十分に乾燥させたら、使用可能です。

以上